

周 教 生 第 804号

平成22年10月21日

新南陽地区地域審議会

会長 吉谷川 亮 様

周南市長 島 津 幸 男

(仮称) 学び・交流プラザ基本構想(案) に対する新南陽地区地域審議会からの意見書について(回答)

平成22年8月31日付で提出のありました標記の件について、別紙のとおり回答いたします。

1. 「基本的な考え方」について

(1) 基本理念・基本方針について

(仮称) 学び・交流プラザは、基本構想(案)の基本方針に掲げておりますように、学んだ成果を発揮できる場づくりに努め、人とまちの活性化に寄与する施設を目指しています。

貴会からのご意見にありますように、今後はこうした目標を実現するため、「どこで、だれが、どのように働きかけるのか」具体的な計画が求められており、今後市民の皆さんと共に検討してまいりたいと思いますので、ご協力いただきますようよろしくお願いいたします。

【意見】について

○(仮称) 学び・交流プラザは単なる施設の建て替えではなく、5つの主要機能を有した複合施設として、効率性や機能性の向上と賑わいの創出を図ります。

○複合施設として施設管理の効率化を図るとともに、適切な人材の配置について、地域の人材の有効活用を図る仕組みづくりを含め、今後検討を深めてまいります。

○第2期生涯学習推進プランにも掲げておりますように、生涯学習に係る関係機関が連携して学びのネットワークを構築するとともに、(仮称) 学び・交流プラザをその中心に据え、地域の「知」が結集する仕組みづくりを進めます。

(2) 設備設計について

基本構想(案)の「果たすべき役割」に掲げておりますように、良質な景観形成の創造に努めてまいります。

また、具体的な部屋の配置については、頂いたご意見を参考にさせていただき、今後の設計業務の中で、検討を深めてまいります。

(3) 施設の集合・集積化による職員の削減について

貴会からのご意見のとおり、(仮称) 学び・交流プラザは複合施設となることから「一元化した管理者制度で合理化を図る」ことを基本にすべきと考えます。基本構想(案)の「施設整備の留意点(1)」にも記述しているとおり、施設や機能の複合化により、効率性や機能性の向上と賑わいの創出を図ります。

また、施設利用の「電子申し込み制度」や「各部屋の利用情報が即時に把握

できるシステム」については、先進事例を参考に、今後研究してまいります。

(4) 託児スペースの充実について

子育て世代の学習機会を確保する上で重要なスペースであり、適切な設置場所や広さについて、設計業務の中で検討してまいります。また、託児機能の具体的な運営方法については、運営段階で関係者と協議を進めてまいります。

2. 「生涯学習センター・公民館」について

貴会からのご意見のとおり、(仮称) 学び・交流プラザが「本市の学びの中核となる生涯学習センター」としてふさわしい施設になるよう、具体的な整備内容や運営のあり方、人材の配置等について、今後検討してまいります。

また、地域のコミュニティ活動をはじめ、様々な地域活動団体やサークル等においても積極的に施設をご利用いただきたいと考えております。

【意見】について

○貴会からのご意見のとおり、規模や面積だけでなく、運営のあり方についても、今後検討を深めてまいります。

○出前講座の開催については、関係機関と連携し積極的に取り組めるよう、必要とされる施設整備について、設計業務の中で検討します。

○基本方針にも掲げているとおり、学んだ成果を発揮できる場づくりに努め、人とまちの活性化に寄与する施設を目指します。

3. 「図書館」について

新図書館は、(仮称) 学び・交流プラザの重要な機能の一つであり、親子連れをはじめ、誰もが気軽に気兼ねなく立ち寄れる、特色ある地域図書館となるよう、検討を深めてまいります。

また、全市的な図書館ネットワークを活用し、情報提供機能やレファレンス機能を充実させるとともに、利便性の高い先進的なシステムの導入等を検討し、親しみやすく利用しやすい、先進的な図書館づくりに努めます。

4. 「体育館」について

(仮称) 学び・交流プラザの「スポーツ振興機能」として、主要な機能の一つと位置付けており、フロアの広さ等、主要な機能スペースは現状程度の規模を維持したいと考えております。

また、貴会からのご意見にもある観覧席については、その必要性を認識しており、スペースの確保に向けて、今後の設計業務の中でさらに検討を深めてまいります。

5. 「社会文化ホール」について

貴会からのご意見のとおり、ホールは学びの場であると共に、学んだ成果を発揮できる場として、大きく期待されます。

具体的な施設内容や規模については、市民主体で使いやすいものとなるよう、今後、設計業務の中で検討を深めてまいります。

【意見】について

○ホール前の空間の充実については、頂いたご意見を参考にさせていただき、今後の設計業務の中で検討してまいります。

6. 「駐車場」について

限られた敷地の中で、最大限の駐車スペースを確保するとともに、管理運営については、的確かつ適正な管理をするため、運営段階において検討を深めてまいります。

【意見】について

○障害を持つ人や子ども連れの皆さんが雨天時にも利用しやすい駐車場のあり方について、頂いたご意見を踏まえ、今後検討してまいります。

7 「その他」について

(1) トイレの確保について

想定される利用者数を踏まえ、適切な施設整備に努めます。

(2) 施設建て替え時の留意点について

各利用団体や近隣施設との協議を進め、閉館中の代替施設の確保とともに、

施設の情報提供等に努めてまいりますので、貴会をはじめ、関係団体のみなさんにも、ご理解、ご協力をいただきますようお願いいたします。

(3) 情報・交流機能、共用スペースについて

ご意見を参考にさせていただき、今後の設計業務の中で、規模や機能の検討を深めてまいります。

(4) 飲食スペースについて

飲食できるスペースは情報交流機能に位置づけ、今後検討を深めてまいります。

(5) 災害時の避難所機能について

(仮称) 学び・交流プラザは防災活動拠点としての役割を担っており、具体的な設備内容については、関係所管とも協議を深め、今後の設計業務の中で検討してまいります。

(6) 広告の導入について

維持管理経費低減に繋がるものであり、今後検討を深めてまいります。